

地域医療特別演習Ⅳ

(Introduction to Community Medicine Ⅳ)

【責任者/担当者】

〔健康医療学〕 富田寿彦 主任教授

〔梅田健康医学クリニック〕 大柳光正 梅田健康医学クリニック 院長

【担当者】

〔健康医療学〕 富田寿彦 主任教授、中村久美子 講師、西井謙夫 助教

〔梅田健康医学クリニック〕 大柳光正 梅田健康医学クリニック 院長

【目的】

地域枠推薦入学学生について、卒前・卒後連携して地域医療の専門医を養成し、将来地域医療教育の指導者となる資質を涵養する。

【科目キーワード】

「地域医療(communitary medicine)」 「家庭医学(family medicine)」 「在宅医療(home healthcare program)」 「プライマリケア(primary care)」

【到達目標(アウトカム)】

- 健康医学クリニックでの人間ドックや外来診療を見学し、地域医療における、健康維持やがんの発見、また生活習慣病及びその対処の意義や課題を説明できる。
- 人間ドックの診察、結果説明を見学し、家庭医やプライマリー・ケア医として必要な各種の健康指導に必要な知識を習得している。また、がんの早期発見について必要な知識を習得している。またクリニックの外来を見学し、総合診療に必要な具体的知識、また接遇を習得する。

【ディプロマ・ポリシーと授業科目の関連】

- ・地域保健や社会福祉のシステムを理解している。
- ・地域医療を理解している。兵庫県の医療に関わる問題を知っている。
- ・生活と疾病予防の関連及び予防接種の重要性を理解している。
- ・プライマリケアを理解している。
- ・文化的・社会的な知識を有している。
- ・健康な社会づくりを理解している。
- ・医療資源の乏しい地域における医療の問題を理解している。

- ・兵庫医科大学の建学の精神および社会への貢献について知り、誇りに感じている。
- ・医の倫理、生命倫理について理解している。
- ・他者を理解し、互いの立場を尊重できる。
- ・医療チームの構成員としての役割を理解し、保健・医療・福祉の幅広い職種からなるチーム医療を理解している。
- ・他者の立場を考えて接することができる。
- ・患者の苦痛を知っている。
- ・自己管理能力を身に付け、自ら学修できる。
- ・身体診察を見て、内容を理解できる。
- ・検査や基本的手技を知っている。
- ・緊急を要する病態を知っている。BLSを理解している。
- ・患者及び医療従事者にとって安全な医療を理解している。
- ・疾患につながる病態生理の基本を理解している。
- ・治療につながる病態生理の基本を理解している。

【概要ならびに履修方法】

梅田健康医学クリニックにてドックや外来の現場を見学する。授業計画等については別途連絡する。

【準備学修ならびに事後学修に要する時間】

がんの早期発見、また生活習慣とがんの関連、生活習慣病とその対処など調べておくこと、少なくとも 1-2 時間

【成績の評価方法・基準】

実習態度、レポートなどを総合的に評価する。参加・皆勤が必須。

実習態度 80% レポート 20%

【学生への助言】

真摯な態度で参加すること。

健診者・患者さんに不安感、不快感を与えないように留意すること。

個人的理由、クラブ活動などによる欠席は認めない。

【フィードバック方針】

特に行わないが、態度不良の場合は注意することがある。

【オフィスアワー】

特に設定しない

【受講のルール、注意事項、その他】

夏季休暇期間中に研修予定。詳細な日程は後日、通知いたします。
体調不良の場合は速やかに連絡すること。

【教科書】

特になし

【参考書】

特になし

【連絡先】

西宮教学課(0798-45-6161)

梅田健康医学クリニック 事務長:松本(06-6110-5301)